



# 失語症について



リハビリテーション科 言語聴覚士 福原 実乃里

言語聴覚士は、主にことばによるコミュニケーションや嚥下(飲み込み)に障害のある方の社会復帰をお手伝いし、自分らしい生活ができるよう支援するのが仕事です。言葉がうまく話せない、声が出にくい等、ことばによるコミュニケーション障害は多岐にわたります。今回はコミュニケーション障害の1つである失語症について取り上げていきたいと思ひます。失語症とは脳の中の言葉を司る部分である、言語中枢が傷つくことで生じます。そのため失語症の方は「聞いて理解すること」、「話すこと」、「読んで理解すること」、「書くこと」等、

話し言葉だけでなく、言語にかかわるすべての作業が難しくなります。例えるとある日、突然、外国でわからない言葉話す人の中に入った状態です。大脳の言語中枢は右利きの人の97%、左利きの人の70%で左半球に存在しており、そこが脳卒中(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血)、事故による頭部外傷、脳腫瘍等で損傷を受けることで失語症が起こります。失語症には様々なタイプがありますが、ここではよく見られる症状と失語症の方への関わり方を紹介しします。

## 失語症でよく見られる症状

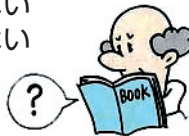
### <聞く側面>

- 聞いた言葉が理解できない
- 聞いた内容を頭にとどめておけない



### <読む側面>

- 書いてある文章の内容が理解できない
- 声に出して読めても意味がわからないことがある
- 漢字は読めるが、平仮名が読めない



### <話す側面>

- 言いたい言葉が浮かんでこない
- 違う言葉が出てしまう
- 同じ言葉が何度も出てしまう



### <書く側面>

- 文字を思い出せない
- 書き誤りがある
- 漢字より平仮名を書くことが難しい



## 失語症の方への関わり方

### ● 短くわかりやすい言葉でゆっくりと話す

✕ 「さきほどから頭痛がするとのことですが、それならばベッドで横になられますか？」

○ 「頭、痛い？寝ます？」

### ● 表情や身振りを添えて話す

### ● 「はい」「いいえ」で答えられる質問をする

✕ 「何が飲みたいですか？」

○ 「お茶ですか？コーヒーですか？それとも紅茶ですか？」

### ● 写真や絵、文字などから選んでもらう

### ● 要点をできるだけ漢字単語で書き出す

✕ 「午後から雨が降りますので、傘を持って出かけた方がいいですよ。」

○ 「午後 雨 傘が 必要」

### ● 文字だけでなく、絵や写真・記号等を同時に提示する

絵カードや地図、カレンダー、失語症の方にとって馴染みのある物を見せて話すことで、話題が理解しやすくなり、コミュニケーションが取りやすくなります。

失語症のタイプは様々なので、私たち言語聴覚士はその方の障害の特徴を検査・評価して、その方に合ったコミュニケーション手段を見つけ支援していきまひます。コミュニケーションでお困りの事がございましたら、当院リハビリテーション科までお気軽にご相談ください。